シリーズ 知っていますか? 町のスポット

■ 第5回 『地域の夏まつりが少しずつ再開』

みんなが毎年楽しみにしている小中島の盆踊りが、 3年振りに復活します!

●7月16日(土)18:00~小中島公園にて開催

毎年9月に藻川河川敷で行われる、水辺まつりも

●9月24日(土)宮園橋付近河川敷で開催される事が決まりました。 やっと地域のおまつりを楽しめるようになりましたね。



気になる町の「注意スポット」「歴史スポット」 「自慢スポット」などあれば、愛逢事務所まで ご一報ください! 206-6493-1424



■ ご寄付をいただきました皆さま ありがとうございました (敬称略)

前田禎子・岩下寛・小林廣子・徳岡富志代・小西加保留・西山裕規・吉田利康 飯田浩・橋本美智子・坂本敬子・岩本裕子・大平シゲ子・浜崎洋子・大森視也子 橋平浩子・匿名希望 1 名

『SDGs―園田をがっちり知ろうーシリーズ』 開催

愛逢もサロンの開催や、運営に参画している地域の居場所「みなくる☆そのだ」で、 SDGs…本来は「持続可能な開発目標」なのですが、ここでは「園田をがっちり知ろう」 シリーズと題して、隔月に園田地域で活動する団体を紹介するイベントを実施しています。 その2回目として愛逢の紹介をさせていただきました。

参加者は12名、愛逢とみなくる事務局スタッフが5名の計17名がコロナ禍でまだ 定員に制限がある中で、満席となりました。

橋平理事長より、実践に基づいた愛逢の成り立ちから、 現在の活動まで、ユーモアを交えながら愛逢をご紹介。 その後参加された皆さまと意見交換や質疑応答など、 双方向性で交流ができました。

まだ With コロナではありますが、みなくる☆そのだ の再開をお手伝いできたことも有意義でした。

脱マスクはいつ?



たいむ ほっと待夢

コロナ禍で迎える夏も3回目となりました。今盛んに論じられているのが「脱マスク」。 マスクをいつ外すかです。マスク姿が定着し、素顔を見せることに抵抗を感じる若者が 増えています。マスクを取る事が下着を脱ぐのと同じような恥ずかしさを感じるという意 味で「顔パンツ」という言葉も登場。今までマスクをしていないと、周りから非難の目で みられる…その感覚からすぐには抜けきらないものです。外国で、みんなで「いっせいの ~で、ポーン!| とマスクを空高く投げ捨てている光景も観ました。

さて、日本人気質を踏まえて、まずは運動中や周りに人がいない空間で、そっとはずし てみませんか。「ほんまにえらいこっちゃったなぁ」と笑顔で話せる日もそんなに遠くで はないと信じています。 (海)



95 믕

特定非営利活動法人 愛逢 尼崎市小中島1T目5-10

TEL: 06-6493-1424 FAX: 06-6493-1443 発行責任者:橋平 浩子 発行日: 2022年7月1日

第19回通常総会を開催しました

第17回(2020年度)及び第18回(2021年度) の通常総会は、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点 から、会員の皆さまから書面で表決を戴く「みなし総会」 となりました。

2022 年度第 19 回通常総会は 6 月 11 日、実に 3 年 振りにお顔を合わせて、本来の形での開催ができました。 コロナも収束に向かう兆しが見えてきたこともあり、



参加された皆さまのお顔も和らぎ、暖かい雰囲気の中で、議案はすべて承認されました。 活動報告では、昨年度もコロナ禍のため主たる事業以外の地域交流事業が展開でき なかったことには、致し方ないとはいえ残念でした。

事務所のある虹のふれあいセンターも地域の居場所として、整備していくことが 今年度に持ち越した宿題となりました。

コロナ前からの課題であったのか、コロナ禍で新たな課題になったのかを見極め、 まだ当面は With コロナの姿勢で活動を展開していかなければなりません。

財源の確保については近年、制度を活用して自分の家で自分らしく暮らし続けたい と希望される方たちが減少する傾向があります。制度活用の利用者を確保できなく なることで、財源確保は深刻化しています。

法人運営に関しては、各事業担当の管理者が課題解決に向けて、課題分析や解決 方法を協議する既存の「戦略会議」をより明確に定期的に開催していく所存です。 当法人は地域に根付き、地域の皆さまに支えられてきました。

今年度も暖かく見守ってご支援いただけるように、鋭意努力をしてまいりますので、 よろしくお願いします。



NPO 法人 愛逢ミッション(社会的使命)

私たちは、多様な生き方が尊重され誰もが安心して暮らせる地域をつくる為に 仲間と支えあい(愛)、つなぎあ(逢)ってきます

NPO法人愛逢は、

地域の皆様が日常生活で「困ったなぁ…」と思った時に、どなたでも、お気軽に ご相談いただける場所です。様々な形の"困った時はお互い様精神" が愛逢の掲げる思いとして、今日も活動しております。

通常総会 第2部 感謝状贈呈

定年退職をされる大森視也子さんと、10年勤務してこられた 奥村冨子さん、髙橋めぐむさんに感謝状を贈呈しました。



勤続 10 年の感謝状を頂き驚いていま す。思い起こせばヘルパー2級の資格取 得は母が高齢になれば役立つと思ったの と、将来高齢者の増加で需要が見込まれ る社会との接点が持ちたいという気持ち で愛逢にお世話になりました。

1年後の定年を控え、会社勤務をして いましたので最初は土曜日だけ、Kさん宅 を訪問していました。穏やかで優しい人 柄の方で、1人暮らしなのにキャベツや 白菜はまるごと買って外葉から使ったら 傷まず消費出来ると教わり現在その方法 を利用しています。教えられること学ぶ 事も多々ありました。最近またその方宅 を訪問する事になり、懐かしい気持ちで 胸が一杯になる事もあります。

一人一人違った人生で頑張った背中が 見える利用者さんに、元気と笑顔を貰っ ているように思います。

(奥村冨子)

この度は感謝状をいただき身に余る光栄 としかいいようがありません。

13年前に兼行さんに「ホームホスピスを 作るから、一緒にしませんか」と声をか けていただき、私の人生は激変しました。 愛逢の家は素晴らしい唯一無二の居場所 で、やりがいのある日々を送ることがで きて幸せでした。兼行さんと愛逢の家に ただ感謝の気持ちで一杯です。

(大森視也子)

いつもお世話になり、ありがとうござ います。愛逢で初めて介護職に就き、気 が付けば 10 年・・・

まだまだふつつかものですが、末永く よろしくお願いいたします。

(髙橋めぐむ)

愛逢サポーター あなたの出番です!

■ 愛逢の家のスタッフ会議に、 珍しいメンバーが!!

4 月の愛逢の家のスタッフミーティン グに、住人さんが参加されるという、何と もおもしろく、素敵なできごとがありま した。

資料を片手にメモを取られる様子や、 はっきりと意見をおっしゃられる場面も あり、スタッフも終始、にっこにこ!!

こんな機会をどんどん増やしていけた らいいなぁと

思っています。



■ 配食には、心強い助っ人が!!

4月のとある配食ランチの日。理事長の お義母さん (橋平ばぁば) が、通院の帰り にふれあいセンターに来られました。

理事長がランチ弁当を作り終わるのを 待っておられましたが、事務局スタッフ に見つかったら…さぁ大変!!

「ばぁちゃーーん!!お願いがあるのー ー!!]と、お弁当箱にシール貼りをお願 いされ、橋平ばぁばは大笑い。

その大笑いが「いいよ」の合図だと、あ っという間に目の前にはお弁当箱とシー ルが用意されました。

橋平ばぁばはペタペタと シール貼りをこなして いっておられました。

愛逢スタッフ リレー紹介 その5

愛逢では、主軸としている3本柱の事業運営に、40人を越える スタッフが関わっていて、みんなの元気で、地域も元気にしたいと 活動しています。そんなスタッフのメッセージリレー第5回目です。



はじめまして。愛逢で働かせていただいて 2年5ヵ月になりますが、実働はトータルで 半年にもならないので「新人」です。

コロナ禍でいつ、もとの生活に戻るのかと 思いますが、時間がある時は美味しいものを 食べたり、キレイなものをみたりして癒され たいと思います。自分のペース、家族のペー



ス(というか 85 歳の姑の ペース)を考えて働かせて 下さい。これからもよろしく お願い致します。

(訪問介護 植田千壽子)

愛逢の家で週一夜勤をさせて頂いていま す。母の介護で職員を退職しコロナ禍中、母 を愛逢の家で最期の時を過ごさせて頂きま した。今、いろんな気持ちを整理しながら「愛 逢の家」の住人さんと関わりながら最期まで 自分らしく生ききるお手伝いを させて頂いています。

施設ではなく「愛逢の家」 の良さを日々感じつつ 楽しんでいます。

(愛逢の家 香西英子)

愛逢に勤めて、はや 10 年目を迎えまし た。パートから始まり、愛逢の家の管理者 となったり、ケアマネをしたり、そして去 年は結婚もしました。

人生の一部を、愛逢と地域のみなさんと ともに歩ませてもらい感謝します。

また、愛逢の家は13年目を迎え、新しい スタッフも増えています。今後も、その日 その日の「普通に暮らし、安心して死んで

くところ」の実現を目指し続 けます。

これからも、愛逢の家を温か く見守りください。

(愛逢の家 西山裕規)

愛逢に携わるようになったのは、愛逢くら ぶの当時の坂本敬子代表から、運転が出来る のでお手伝いのつもりで、地域の方々の、病 院送迎等をお願いされたことがきっかけで す。手伝いながら、ヘルパー資格を取ったこ とで、仕事の内容が変わりました。

障害者の方々の運動のための、プールへの送 迎の運転と付き添いで、月 2 回 18:00~ 21:30 の支援活動を約 2 年間行いました。

昼間は送迎や急なヘルプに備え待機。自立 支援、生活全般の支援、重度の障害児の下校 時迎えや外出の付き添い、麺類を細かく切っ ての食事介助、色々ありましたが

一部のご家族の方達とは、15 年経った今で も手紙のやり取りを行っています。

春、秋に会員さんと花見やイチゴ狩りなど にも行きました。

資格を取った事で色々経験をさせて頂き



ました。有難う御座います。 (ちなみに、今は西川に立ち上が ったわかくさ支部でわかくさ 支部の組合員でもあります。) (訪問介護 目堅喜代蔵)



友人の紹介で愛逢にお世話になり、20年 近くなります。

助け合いで始まり、緊張しながらお逢い した N さん。笑顔で迎えて下さり、いろい ろありましたが、私の身に着けているもの が好きだと言って下さった品は、今でも宝 物で介護仕事で心が折れそうになった時は

手にしたりしています。

長い活動の中でたくさん学び、 教えられ、助けられ毎日過ごせ たことの幸せを感じ、これから も過ごしていけたらと・・感謝 です。 (訪問介護 白川幸枝)

